

令和5年9月26日 16時00分現在
 福岡市保健医療局健康医療部保健予防課
 担当:三浦、麻生嶋 (電話 711-4270 内線2061)

インフルエンザ様疾患の発生について

(第 15 回目)

本日次のとおり、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告がありましたので、お知らせいたします。

No.	施設名	所在地	全クラス数	学 級 閉 鎖 等 の 状 況								閉鎖期間・日数	主な症状等
				閉鎖種別	学年	クラス数	閉鎖クラス数	在籍者数	欠席者数	登校(園)し患者数	患者数計		
1	春吉中学校	南区清水4-21-50	25	学年閉鎖	2	7	7	227	48	0	48	9/25~9/27 [3日間]	発熱
2	高取中学校	早良区原3-3-1	27	学級閉鎖	2	8	1	35	3	7	10	9/25~9/28 [4日間]	発熱、咽頭痛、頭痛
3	福翔高等学校	南区野多目5-31-1	26	学級閉鎖	2	9	1	42	16	0	16	9/25~9/27 [3日間]	発熱
4	玄洋高等学校	西区田尻東2丁目2490番地	18	学級閉鎖	1	6	1	36	8	0	8	9/25~9/26 [2日間]	発熱
	〃	〃	〃	学級閉鎖	3	6	2	65	15	2	17	9/25~9/26 [2日間]	発熱
5	福岡大学附属若葉高等学校	中央区荒戸3-4-62	37	学級閉鎖	1	13	1	42	13	0	13	9/25~9/25 [1日間]	発熱
	〃	〃	〃	学級閉鎖	2	13	2	84	20	0	20	9/25~9/25 [1日間]	発熱
6	東花畑小学校	南区屋形原2-23-1	18	学級閉鎖	4	2	1	34	13	0	13	9/26~9/27 [2日間]	発熱、咽頭痛、倦怠感、咳、頭痛
7	宮竹小学校	南区井尻1-1-1	28	学級閉鎖	5	4	1	32	7	0	7	9/26~9/28 [3日間]	発熱、咽頭痛、腹痛、咳、頭痛
8	鳥飼小学校	城南区鳥飼4-13-2	23	学級閉鎖	6	4	1	27	7	2	9	9/26~9/27 [2日間]	発熱、悪寒
9	高取小学校	早良区昭代2-15-51	39	学級閉鎖	3	6	1	31	12	0	12	9/26~9/28 [3日間]	発熱、咽頭痛、関節痛、倦怠感
10	西新小学校	早良区西新6-4-1	34	学級閉鎖	3	5	1	31	5	9	14	9/26~9/28 [3日間]	発熱
	〃	〃	〃	学級閉鎖	4	6	1	31	9	7	16	9/26~9/28 [3日間]	発熱
11	原北小学校	早良区南庄4-5-40	23	学級閉鎖	4	3	1	33	11	2	13	9/26~9/29 [4日間]	発熱、咽頭痛、倦怠感、咳
12	香岐南小学校	西区戸切2-17-1	22	学級閉鎖	1	3	1	24	7	0	7	9/26~9/27 [2日間]	発熱、咽頭痛
13	箱崎清松中学校	東区松田2-3-1	25	学級閉鎖	1	7	1	33	11	3	14	9/26~9/28 [3日間]	発熱
14	城南中学校	城南区茶山6-19-1	33	学級閉鎖	2	10	3	95	22	6	28	9/26~9/27 [2日間]	発熱、咽頭痛
15	姪浜中学校	西区愛宕浜1-32-1	29	学級閉鎖	2	8	1	33	10	0	10	9/26~9/27 [2日間]	発熱
	〃	〃	〃	学級閉鎖	3	9	1	31	7	0	7	9/26~9/27 [2日間]	発熱
合計	休校	0 施設					休校	0	0	0	0		
	学年閉鎖	1 施設 (内訳:中学校1)					学年閉鎖	227	48	0	48		
	学級閉鎖	14 施設 (内訳:小学校7 中学校4 高校3)					学級閉鎖	739	196	38	234		
	施設数計	15 施設					計	966	244	38	282		

学級閉鎖等施設数の累計 (9月以降に学級閉鎖等があったもの) [上記を含む]

	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援学校	その他	計
休 校	0	1	0	0	1	0	0	2
学 年 閉 鎖	0	1	2	1	0	0	0	4
学 級 閉 鎖	0	4	38	16	14	0	0	72
合 計	0	6	40	17	15	0	0	78

(注) 同一施設で同一週に学級閉鎖が2クラス以上あった場合は、学級閉鎖が1校として計上しています。
 (注) 同一施設で同一週に学級閉鎖と学年閉鎖があった場合は、学年閉鎖が1校と計上し、学級閉鎖の校数としては計上していません。

※プライバシー保護の観点から、学校等への取材はご遠慮くださいますようお願いいたします。

【市政記者クラブの皆様へ】

1定点医療機関当たりのインフルエンザの報告数が令和5年9月11日から17日の1週間は12.65と注意報発令の基準である10を超え、増加傾向にあります。

インフルエンザは、短期間に多くの人へ感染が広がります。乳幼児や高齢者は、合併症で重症になることがありますので、特に注意が必要です。引き続き、以下の取組みの継続及びその更なる徹底について市民への呼びかけへのご協力をお願いいたします。

- ①手洗いをこまめに行いましょう。
- ②十分な休養や睡眠をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理をしましょう。
- ③咳やくしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう
- ④症状のある人はマスクを正しく着用し、感染拡大防止に努めましょう。
- ⑤室内ではこまめに換気をしましょう